

<2021 年 6 月 21 日発表>

## 博多祇園山笠『十七番山笠ソラリア』奉納・披露

～疫病退散と福岡・博多の更なる国際発展を祈願して～

- 西日本鉄道(株)では、2021 年 7 月 1 日(木)から 7 月 14 日(水)までの期間中、当社が運営する商業施設「ソラリアプラザ」の 1 階イベント広場「ゼファ」にて、博多祇園山笠の飾り山笠「十七番山笠ソラリア」を奉納・披露いたします。
- 本年は、表(おもて)には戦国最強とも称される武将「可児才蔵(かにさいぞう)」が武功を挙げて勇名を馳せた関ヶ原の戦いで奮戦する姿を、見送(みおくり)には、時の女帝であった斉明天皇による飛鳥の地から「筑紫」(現在の福岡)への遷都にまつわるエピソードを表現します。
- 表の標題…「猛将才蔵去退病(もうしょうさいぞうやまいをもしりぞける)」  
猛将「可児才蔵」が、天下分け目の関ヶ原の戦いで福島正則の軍に属し、槍を振るって奮戦する勇猛な姿を描きます。また、可児才蔵は「笹野才蔵」として、福岡で疫病除けの神様として親しまれており、その姿を描くことで疫病退散の願いを表現します。
- 見送の標題…「筑紫遷都誉(つくしせんとのほまれ)」  
西暦 661 年、友好国百済(くだら)の滅亡という有事に際して、時の女帝であった斉明天皇が中大兄皇子(後の天智天皇)や弟の大海人皇子(後の天武天皇)を伴い、都を初めて近畿外の「筑紫」(現在の福岡)に遷都した様子を描き、福岡が古来よりアジアに面した重要拠点都市であったことを表現します。
- 屋内の吹き抜け空間に設置する「十七番山笠ソラリア」は、天候を気にすることなく様々な角度から山笠をご覧いただけ、毎年多くの来館者の方にお楽しみいただいております。今年は新型コロナウイルスの根絶と福岡・博多の国際都市としての更なる発展の願いをこめた標題になりますので、ぜひソラリアプラザ 1 階イベント広場「ゼファ」に足を運んでいただき、博多を代表する祭である博多祇園山笠の迫力をご鑑賞ください。

### ■ 2021 年度博多祇園山笠 飾り山笠「十七番山笠ソラリア」奉納・披露について

【スケジュール】	2021 年 6 月 24 日(木)	棒締め
	6 月 27 日(日)～29 日(火)	飾りつけ
	6 月 30 日(水)	総仕上げ
	7 月 1 日(木)10 時～	御神入れ
	7 月 1 日(木)～7 月 14 日(水)	飾り山笠披露
【場 所】	ソラリアプラザ 1 階イベント広場「ゼファ」(福岡市中央区天神二丁目 2-43)	
【名 称】	「十七番山笠ソラリア」	
【標 題】	表	:「猛将才蔵去退病(もうしょうさいぞうやまいをもしりぞける)」
	見送	:「筑紫遷都誉(つくしせんとのほまれ)」
【製 作 者】	表	:博多人形師 置鮎 正弘(おきあゆ まさひろ)氏
	見送	:博多人形師 小嶋 慎二(こじま しんじ)氏
	山大工棟梁	:野中 力(のなか つとむ)氏

表：「猛将才蔵去退病（もうしょうさいぞうやまいをもしりぞける）」

可児才蔵（かに さいぞう）は美濃国可児郡（現在の岐阜県）出身。  
斎藤龍興、柴田勝家、明智光秀、前田利家などの戦国大名に仕え、森長可に仕えていた時に戦で上げた敵の首級に目印として笹を口に含ませたことから通称「笹野才蔵（さきの さいぞう）」の名で知られるようになりました。  
関ヶ原の戦いでは福島正則に従軍し、17の首級をあげたことで徳川家康から称賛されました。  
“戦国最強”と呼ばれた武勇で、福岡では明治以来、若侍の赤い衣の意匠で猿を伴った笹野才蔵の人形が“疫病除けの神様※”として多くの家で飾られてきました。  
※ある夜、暗闇に紛れて近づいたもののけに才蔵が一太刀浴びせたところ、もののけは疱瘡の神であって、疱瘡を武をもって退けたとの逸話が残っている

登場人物：可児才蔵（笹野才蔵）、徳川家康、福島正則、敵将

見送：「筑紫遷都誉（つくしせんどのほまれ）」

西暦 661 年。朝鮮半島での友好国百済（くだら）の滅亡という有事に際して、時の女帝であった斉明天皇が飛鳥の地を出て都を初めて近畿の外の「筑紫」（現在の福岡）の地に移しました。  
この遷都には斉明天皇の皇子である、中大兄皇子（後の天智天皇）や弟の大海人皇子（後の天武天皇）をも伴った本格的な遷都でした。  
その地は『日本書紀』によれば那の津にほど近い「磐瀬宮（いわせのみや）」と記され、そこは間もなく「長津宮（ながつのみや）」と称されます。  
その後、宮はさらに「朝倉橋 広庭宮」（あさくらたちばな ひろにわのみや）に移されました。「磐瀬宮」の推定地の一つは西鉄高宮駅付近とされ、「磐瀬橋」にその名が残されています。「朝倉橋 広庭宮」は朝倉市や小郡市、太宰府市などの説があります。  
この出来事の後、天智天皇や天武天皇の施策が礎となり、東アジアの規範に準拠した律令制度に基づく古代国家「日本」が誕生しました。  
この福岡の地にかつて国都があったことは、この地が地政学的に古代からアジアとの接点であったことを物語っています。

登場地名：斉明天皇、中大兄皇子、大海人皇子、阿倍比羅夫、朝倉山の鬼



作画:墨絵、陶墨画アーティスト 西元祐貴

世界的な注目を集める、日本を代表する墨絵、陶墨画アーティスト。龍や侍などの古典的なモチーフから、スポーツ選手やミュージシャンなどの斬新なモチーフを描く。伝統的な技法に捕われず、大胆さと繊細さを持ち合わせたタッチで「躍動感」を追求した作品を描く。「陶墨画」は墨絵のごとく陶土の板に釉薬で描き、高温で焼き上げられ、その躍動感が千年褪せない作品となる。



本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(TEL:0570-00-1010)まで